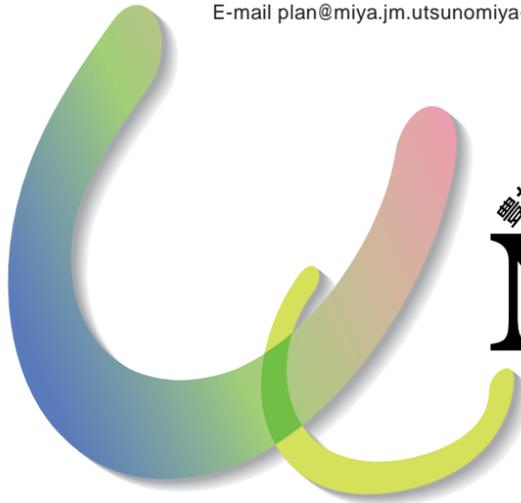




〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

NOW

● vol.13

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

- 1 感性を磨く
- 2 しつこく情報
- 4 地域貢献REPORT
- 5 キャンパスみどころMAP峰キャンパス
- 7 キャンパスみどころMAP陽東キャンパス
- 9 SLOW FOOD
- 10 学生アンケート「宇大生は今！」
- 11 INFORMATION
- 12 研究 Keyword



感性を磨く

感性を磨く

地球全体が活動のフィールド

高砂さんは大学在学中に、オーストラリアへ放浪の旅に出ました。そこで、一生の仕事となる「水中写真」に出会いました。私たちは写真部で活動する学生としてさまざまな興味深い話を聞くことができました。そして、「凝り固まった発想で進路を決めないでほしい。可能性はいっぱい広がっている」という自らの体験を踏まえてのメッセージは、4年生となり「進路」の問題に向き合っている私たちの心に印象深く残りました。（取材／農学部4年・竹島久美子 工学部4年・川上浩一 国際学部特別聴講生・胡淳安）



写真家

高砂 淳一

Takasago Junji

たかさが、じゅんじゅん1962年、宮城県石巻市生野町、宇都宮大学工学部電子工学科在学中にオーストラリアを放浪し、タイムと写真に目覚める。卒業後、東京写真専門学校で写真を学び、86年オーストラリアに専属カメラマンとして入社。89年に独立後は地球全体をフィールドに撮影活動を行う。写真集「free! laqual / free! / night rainbow」[BIBLI]、写真家「free! PO法人「O.S」(The Oceanic Wildlife Society)理事として自然保護活動に取り組む。2008。

水中写真に目覚める

「僕にとっては一度海から離れて暮らしたということが、自分のバネになったと思う。海がないことで、いかに海が好きかということを知った。」

東北の海辺のまちで育った。遊ぶ場所が海だった。故郷を離れ、栃木県の宇都宮大学へ進学。身近に海のない生活を初めて体験した。無性に海が恋しくなる。そんなときは、夜中であらうとクルマやバイクに飛び乗って茨城の大洗海岸まで走った。

4年進学時に大学を休学、「ワーキングホリデー」を利用してオーストラリアに旅立った。「電子工学科の場合は研究室に入り、そのまま卒業し、大半が電気メ

「カーに就職していく。そういうことが自分には合わないと感じずんなりとは受け入れられなかった。ちょっと自由な時間をつくって考えてみようと思った。」

エメラルドグリーンに輝くグレートバリアリーフの美しさに圧倒された。「ダイビングをしたい」との想いが自然に湧き上がってきた。やがて水中写真に目覚めていく。放浪の旅は、海洋写真家の原点である。

「陸上をいくら歩き回っても見られないようなものが海の中にある。日常とはまったく別の世界なのです。僕らのような自然写真家は普通の人が行けないところ、見られないものを、そこと見せてあげるといふ仲介者

の一面があります。感性の鋭い人は、写真から生き物に対する愛情や地球の環境の重要性とか、そこまで感じ取ってくれる。僕たちが気付かなかったことをいろいろ感じてくれる。そこがむしろいい、やりがいも感じます。」

ハワイアンスピリット

いま、活動のフィールドは海洋から地球全体に広がっている。その中でハワイは最も魅了された場所の一つだ。満月の光で出現する夜の虹「night rainbow」を写真に捉え世界ではじめて本

にまとめたのが高砂さんである。「太平洋のど真ん中にある島で、いろんな地域国の人が入ってきては、ひどい目に遭った歴史が

ある。しかし今、いろいろな人が混ざって仲良く暮らしている。ハワイアンの知恵で一番大切なことはとにかく「アロハ」な気持ちで受け入れ、混ざることに意義を感じ、そこから新しいものを創り出すことなのです。」

ハワイには美しい虹がよく出るといふ。虹はいろいろな色でできています。人にもいろいろなカラーがあっていい、それが虹のように一つにまとまって仲良く暮らす。ですから虹はハワイにとっても大事な存在です。」

ハワイアンの知恵は、「変わる」と、「多様性」の大切さを教えている。そのハワイアンスピリットは、高砂さん自身の言葉からも伝わってくる。

「なるべく頭を固めないようにしたいなと思ってる。柔らかい発想でいろいろなことをおもしろがる気持ちで大事にしたい。いつでも自分が変わっていいようにしたいと思ってる。学生たちもあまり凝り固まった学生生活を送らないでほしい。もっとおもしろいことが他にあるかもしれない。可能性はいっぱい広がっている。そういう可能性を感じ取れる感性を磨いていってほしい。」

今、恩師の「愛情」を思う。アットホームで都会すれしていない宇都宮大学の生活は「大都会の大学ではないからこそ」世間体や流行に左右されず、

「なるべく頭を固めないようにしたいなと思ってる。柔らかい発想でいろいろなことをおもしろがる気持ちで大事にしたい。いつでも自分が変わっていいようにしたいと思ってる。学生たちもあまり凝り固まった学生生活を送らないでほしい。もっとおもしろいことが他にあるかもしれない。可能性はいっぱい広がっている。そういう可能性を感じ取れる感性を磨いていってほしい。」

じっくり自分を見つめ、好きなことに打ち込める時間と環境があった」といふ。

放浪の旅を終え、迷った末に復学した際も、研究室の教授たちが温かく迎え入れてくれた。「助教に『写真家を目指したいと思いますが、お願いします』と言つと、『分かった。写真がんばれよ。研究室の勉強はほとんどでいいから』と言ってくれた。その言葉は、僕にとって励みになったし助けになった。写真

をいっばい撮っているんだからスライドショーをやれよと言われ研究室でスライド上映をした記憶がある。今思つと、そういうことが僕への愛情だったかなと思えます。ありがたいことです。」

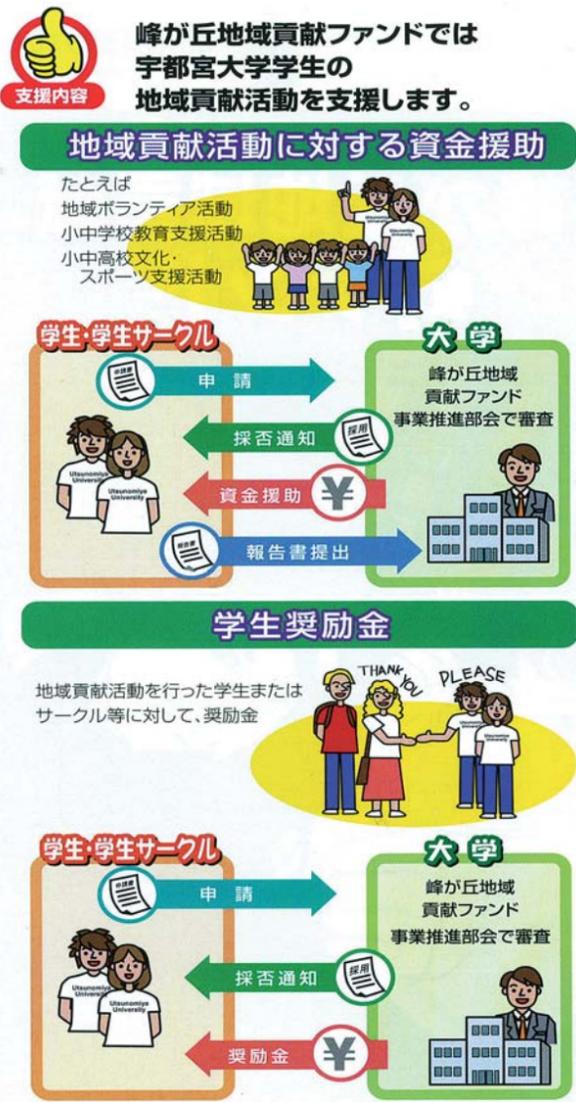
CAMPUS

* 峰が丘地域貢献ファンドについて

本学は、「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーとして、地域貢献に資する人材の育成を通じて、国内外の多様な要請にも応え得る人材の育成を目指しています。

平成18年6月、本学のメインバンク等のご支援・ご協力を得て「国立大学法人宇都宮大学『峰が丘地域貢献ファンド』」(通称：峰が丘地域貢献ファンド)を設立し、賛同者(資金拠出者)からの拠出金及び本学資金を運用財源として、運用益(利息)を栃木県内の地域貢献事業などに参加する本学学生に奨学金等を給付し、支援しています。この取組は、他大学にはない本学独自の特色ある取組となっています。

学生(サークル・個人)対象の支援は、以下の2つがあります。



峰が丘地域貢献ファンドに関する募集・お知らせについては、学生支援課前掲示板をご覧ください。

峰が丘地域貢献ファンドHP

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/found/index.html>

* 保健管理センターから

保健管理センターは峰地区と陽東地区の大学キャンパス内にあり、医師免許を持つ教員2名と、看護師3名が健康に関するサービスを提供しています。

毎年4月には全学生を対象に定期健康診断を行い、その結果を6月に各学生あてお知らせしています。さらに、けがや急な病気に対して救急処置(応急処置)や薬の処方を行うと共に必要に応じて医療機関への紹介を行っています。ほかにも、身体の不調時に利用できるよう休養室にベッドが用意してあります。また、アルコールパッチテストや救急箱の貸出などいろいろなサービスを行っています。

新入生の時期はさまざまな行事に忙しく、まだ慣れない生活のなかで思いがけない心身の不調に襲われがちであり、学業や対人関係を巡る精神・心理面のさまざまな悩みが生じる時期でもあります。

自分の健康への不安や疑問がある場合には、遠慮なくセンターまでご相談ください。

カウンセラーが予約制で相談に応じる面接室も設けられています。健康診断時にはカウンセラー全員で新入生の皆さんにお会いしますので急いで相談のある場合はそのときに予約を入れてください。

センターの詳細については「保健管理センター案内」や「学生生活案内」の保健管理センターのページをみていただくと共にまずは保健管理センターの場所をしっかりと確認しておきましょう。

平成20年度 学生定期健康診断日程表

学年	対象者 区分	月日	受付時間	検査項目								
				計測	視力	血圧	尿検査	内科	胸部X線	面接	血液検査	
1年生	国際教育	4月10日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	工・機械・電気電子	4月10日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	工・応化・建設・情報	4月10日(木)	13:00~15:00	○			○	○	○	○		
2年生	農	4月9日(水)	13:00~15:00	○			○	○	○	○		
	国際教育	4月18日(金)	13:00~15:00	○			○	問診	※		○	
	工	4月17日(木)	★13:00~15:00	○			○	問診	※		★○	
3年生	農	4月18日(金)	13:00~15:00	○			○	問診	※		○	
	国際教育	4月16日(水)	13:00~15:00	○		○	○	問診	※			
	工	4月15日(火)	13:00~15:00	○		○	○	問診	※			
3年次編入生	農	4月16日(水)	9:00~11:00	○		○	○	問診	※			
	国際教育	4月10日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	工	4月10日(木)	13:00~15:00	○			○	○	○	○		
4年生	農	4月9日(水)	13:00~15:00	○			○	○	○	○		
	国際教育	4月11日(金)	13:00~15:00	○	○	○	○	○	○	○		
	工・機械	4月14日(月)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		
修士1年	工・電気電子・応化・建設・情報	4月14日(月)	13:00~15:00	○	○	○	○	○	○	○		
	農	4月11日(金)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		
	教育	4月17日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
修士2年	農	4月17日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	教育	4月11日(金)	13:00~15:00	○	○	○	○	○	○	○		
	農	4月11日(金)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		
博士前期1年	国際	4月17日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	工	4月15日(火)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	国際	4月11日(金)	13:00~15:00	○	○	○	○	○	○	○		
博士前期2年	工	4月14日(月)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		
	国際	4月17日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	工	4月15日(火)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
博士後期1年・2年	農	4月17日(木)	9:00~11:00	○			○	○	○	○		
	国際	4月11日(金)	13:00~15:00	○	○	○	○	○	○	○		
	工	4月14日(月)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		
博士後期3年	農	4月11日(金)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		
	国際	4月11日(金)	13:00~15:00	○	○	○	○	○	○	○		
	工	4月14日(月)	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	○		

※実施場所：大会館 / 保健管理センター(胸部X線) 注) ※印の学部学生で、次の方は胸部X線を必ず受けてください

★受診票・尿容器は、修学支援課前(工学部は学生係)においてあります。必要事項を記入してから、健康診断を受診してください。
★受診日当日は、必ず学生証をお持ちください。

- ①最近家族や友人で結核に罹った人がいる人
- ②介護実習・教育実習等の予定がある人
- ③就職活動等で診断書が必要な人
- ④希望する人

* 教育学部の講義棟がリニューアルされました

昨年秋から行われていた教育学部講義棟(A棟)の改修工事が終わりました。

エントランス部分が明るくきれいになりました。

1階部分には就職支援室や教育実践推進室など学生の進路や学びをサポートする部屋を新しく設置しました。

トイレも新しく使いやすくなりました。

教室番号(教室名)に変更がありますので、教育学部ホームページなどでの変更案内に注意してください。



生涯学習教育研究センター

社会人の「学び直し」の支援(その1)
~「食と農」に精通し「対話力」を発揮する人材の養成~

宇都宮大学では地域貢献事業に取り組んでいます。その取組の一つ、「専門知識を学び直して、その成果を社会で生かしていきたい!」と願う社会人を応援するシステムの開発について、今回と次回との2回に分けて紹介いたします。

イベントに集った大人数の参加者



大分産カボスを題材にしたグループ討議



「食と農」についての公開対談



有機農法について実習を行う受講生



農学部附属農場を散策する受講生



講義方法に創意工夫を凝らす講師

生涯学習教育研究センター
その新たな展開

生涯学習教育研究センターは、地域住民などを広く対象とした公開講座の開催、社会教育主事の養成事業などを通じて、学習機会を積極的に提供してまいります。

さらに、平成19年度からは、これらに加えて、「企業の環境取組み診断を通じたプロジェクト・マネジメント能力の練成プログラム」と「対話力に富み「食と農」に精通した人材の養成および農業集団の育成のためのプログラム」といった2つの事業の推進を、本センターの専任教員2名の各々が担当しています。

これらは、文科科学省から「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」を開発・実施するよう委託された事業ですが、いわゆる「競争的資金」として獲得されたものです。本事業は、全国の国立公立大学および短期大学と高等専門学校から315件の応募があつて採択された126件のうちの2件です。

社会貢献
大学の「第三の使命」

本事業は、重要な社会的使命を帯びています。大学は、教育と研究が重要な二本柱として成り立っているとされている組織です。しかし、最近の教育関連法案の改正により、大学の「第三の使命」として新たに「社会貢献」が明確に位置づけられました。

そして、大学による社会貢献を具体化したシステムとして、学生を対象とした「学位プログラム」とは異なるものとして、主として社会人を対象とした「履修証明プログラム」を開発・実施することが求められています。つまり、本事業は、いわゆる学歴とは異なる形の新たな能力証明システムを創造するという、社会から大学に課せられた「宿題」なのです。



2008年2月2日のイベントの立看板

学は、市民のために多様な学習機会を提供するのみならず、その履修を独自に証明することができるようになりました。この意味で、本センターさらには本学は、新しい時代によって試されているのみならず、未来社会から大きく期待されているのです。

食農プログラム
その主な概要

本センターが開発・実施している2つのプログラムのうち、今回は「対話力に富み「食と農」に精通した人材の養成および農業集団の育成のためのプログラム」について説明いたします。これについて略称で「食農プログラム」と呼んでおきます。

食農プログラムの主たる目的は、初級レベルでは、「食と農」に関する普及啓発活動や社会教育活動を指導的立場で行える人材を養成することであり、中級レベルでは、事業委託されたり自ら起業したりするに耐える実践的力量を持つて経営を行えるような人材を養成することです。

いずれにしても、「食と農」に関する専門知識を獲得するだけでなく、それらを「宝の持ち腐れ」にせずに、実社会で通用する形で生かしていく能力も同時に育成できていることがポイントになります。

この能力のことを、本学では「対話力」と名付けていますが、これには、直に会ってコミュニケーションを円滑に図ったり、企画を立てたり、効果的な広報活動を進めていったりする力など、様々な要素が含まれています。

まれています。

このように、該当テーマに関する専門性を身につけるとともに、それを自ら効果的に発揮していくことにより、社会に通用すると自他ともに認める人材を養成します。

さらに、これらの人材に対して、本学が履修証明を行い、「食農教育サポーター」や「食農経営ファシリテーター」といった本学独自資格(ともに仮称)を付与します。当然、本学としては、プログラムそれ自体を充実させるだけでなく、こうした資格の社会的認知度と社会的信用性を高めたいよう努めます。

平成19年度の成果

本プログラムは、平成19年度から平成21年度までの3年計画で開発・実施します。平成19年度は、公開講座として実施している「宇都宮農学校」をプレ講座として位置づけ直し、対話力に関するフォローアップ講座、まちづくりに関する特別講座などを新たに実施しました。

また、プログラム実施と並行して、以下を進めました。

第一に、プログラムの基本的な考え方や基本理念を確立することです。その結果、本学が中心となって、様々な関係機関の協力を得ながら、「食農学」という新たに体系化した学問を創造しようとする動きが生まれました。

第二に、広報活動です。本学が食農プログラムを開発中であることや、大学の新たな役割として一般社会人向けに履修プログラムを提供する時

代になったということを周知することに力を注ぎました。

第三に、調査活動を行う中で、社会人自身が学び直したいと考えている内容や、社会が社会人に対して求めている能力などを明らかにすることに努めました。

平成20年度の予定

平成20年度は、「モニター受講生」を公募し、プログラムを改良・再開発していくための意見徴収を積極的に行うことを重視します。

入門コースは、指定した公開講座(宇都宮農学校、とちぎの食材、宇都宮餃子学入門、企画力を鍛える、広報力をアップさせる)を一定時間以上受講した人に対して、修了証書を付与するという仕組みにいたします。

また、フォローアップ講座において、「食と農」に関するグループ学習を行い、実社会に通用する企画を編み出すトレーニングをしたり、人前で企画を発表する体験をしたりするなど、実践力を強化していきます。

興味・関心のある皆様のチャレンジをお待ちしております。詳細については、お問い合わせください。

(生涯学習教育研究センター 佐々木英和)

問い合わせ先
宇都宮大学
生涯学習教育研究センター
〒321-8505
栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-5143
FAX 028-649-5145
E-mail:syokunou@cc.utsunomiya-u.ac.jp

キャンパス みどころ MAP

峰キャンパス

INFORMATION

【国際学部】
国際学部出張講義
国際化社会における相互理解への関心を高めるため、栃木県内や県外の高等学校へ本学部教員が出向いて高校生に国際関係に関する講義を行っています。
国際学部社会人特別選抜学生募集
広く社会人を学部学生として受け入れるため、小論文・英語読解・面接などによる特別選抜を実施しています。
国際学研究所博士前期課程社会人特別選抜学生募集
企業、自治体等で活躍している方、国際交流・貢献活動経験者等のキャリア・アップを目指す方、社会貢献を考えている団体の世代、主婦などの社会人を、大学院博士前期課程の学生として受け入れるために、口述試験等による特別選抜を実施しています。勤務条件や通学時間を考慮した授業時期や時間を設けて、夜間や土曜日等にも開講しています。
教育訓練給付制度の講座指定（国際社会研究専攻・国際交流研究専攻）
国際学研究所国際社会研究専攻生及び国際交流研究専攻生で、雇用保険の被保険者または被保険者であった期間が3年以上の方（ただし、初回に限り、1年以上の者）は、博士前期課程修了後、大学に支払った経費の20％に相当する額（上限10万円）の支給を受けられます。これは、雇用保険の給付制度です。詳細はハローワークへお問い合わせ下さい。
国際学部・国際学研究所講演会・シンポジウム
年数回、その時々に応じた講演題目で学生・教職員を対象に学外の多様な方の講演会等を開いています。一般の方も参加することができます。平成20年度には、国際学研究所設立10周年・多文化公共圏センター設立記念事業として国際シンポジウムを開催します。
国際学研究所サテライト公開授業
ローカルな問題をグローバルな視点で捉えなおし、地球市民の立場から検討する公開授業を実施しています。一般の方も参加することができます。
多文化公共圏センター（平成20年4月1日開設！）
栃木県内の自治体、国際交流協会、市民団体等及び海外の交流協定校とネットワークを形成し、グローバル化に関わる課題に関する研究や実践的活動を行います。
問い合わせ先 総務係 TEL028-649-5164 FAX028-649-5171
E-mail kokosomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

【教育学部】
フレンドシップ事業（児童・生徒）
学生と子どもたちが直接ふれあい、体験を通して実践的に学ぶ機会を提供しています。科学実験、野外活動、環境教育、まちづくり活動を行っています。
授業見学（高校生及び保護者）
高校生に教育学部をよりよく知ってもらうために学部の授業見学を開催しています。なお、説明会は本学教員が、直接高等学校へ出向き、生の講義をお伝えしています。
大学院教育学研究科授業の夜間・休日等開講
大学院教育学研究科では、現職教員や社会人の専修免許取得や自主的な研修に役立てるため、多数の授業科目を夜間、土・日曜日、長期休業期間に開講しています。特に、カリキュラム開発専攻と特別支援教育専攻は、夜間、休日等の授業を履修することによって、勤務を続けながら修了することが可能です。
問い合わせ先 総務係 TEL028-649-5242 FAX028-649-5244
E-mail kyisomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

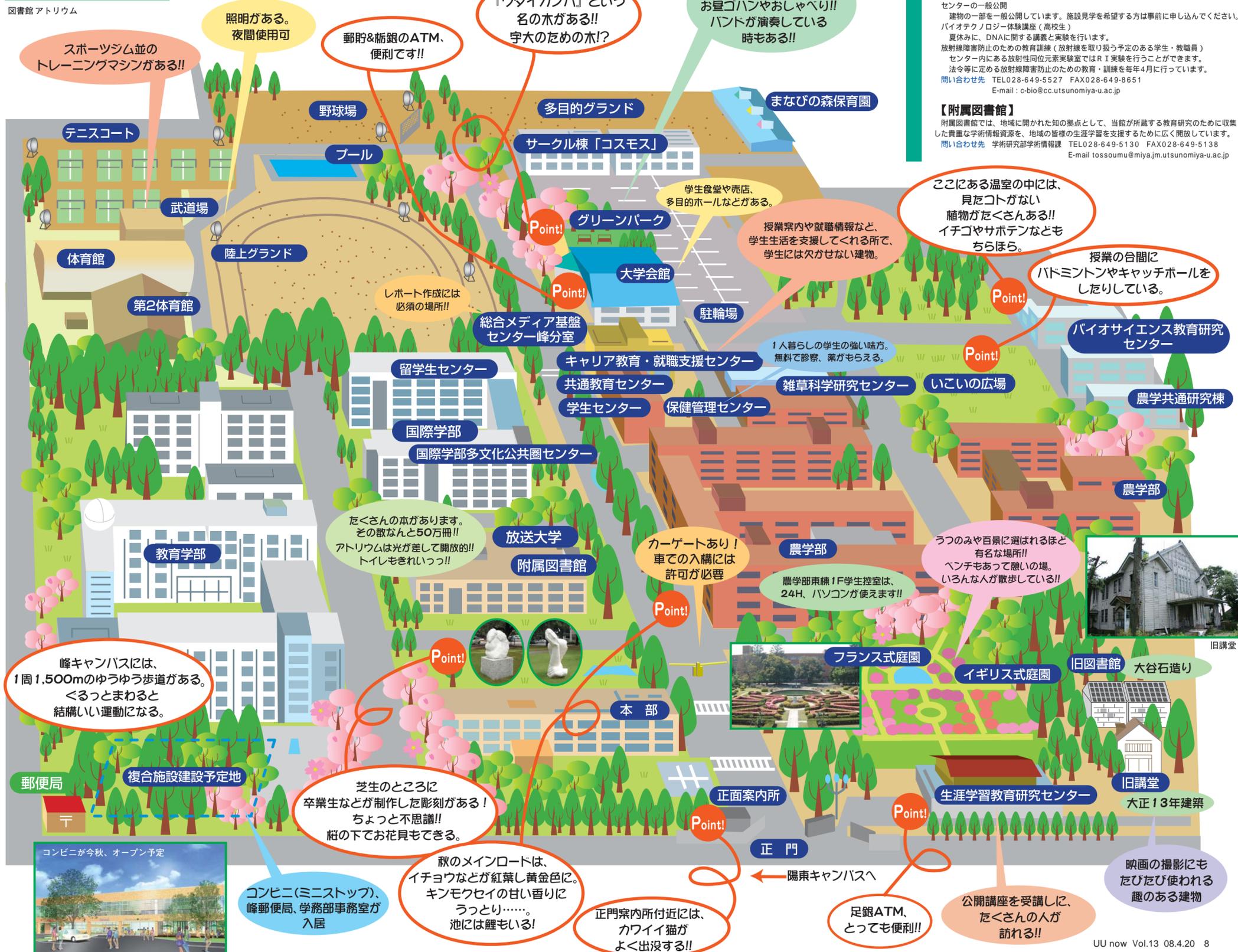
【農学部】
農学部出張講義
宇都宮大学農学部における教育・研究への関心及び「農」に関する知識をより深めてもらうため、本学部教員が高等学校へ出向き、生の講義をお伝えしています。
農学部シンポジウム
年数回、学生や教職員、学外者を対象として、様々な分野の国内及び国際シンポジウムを開催しています。
アグリカレッジ
農学に対する向学心を深めるため、「農業を科学する」をメインテーマとして高校生を対象に講義を行う、県立農業高校と宇都宮大学農学部の高連携事業の一つです。
スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）及びサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）
文部科学省が開始した事業であり、そのお手伝いとして宇都宮大学農学部では、研究施設や教育施設の開放及び公開講座を行っています。
アグリ支援機構
日常にある「農」に関する疑問や講演・技術指導及び受託研究や共同研究の相談などをお受けしています。
問い合わせ先 総務係 TEL028-649-5398 FAX028-649-5401
E-mail nousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
「お米と果物とミルクの不思議体験教室」（小学生と保護者）
春から秋にかけて4～5回実施しており、田植えや摘果から収穫まで、また牛の乳しぼりなども体験できます。
オープンエコファーム（開放農園）事業（社会人等）
有機栽培に取り組みとする農家等に対して、野菜、畑作物等の有機農業を実践・実習及び指導します。
小・中学校教員のための園芸技術講習会
学校の花壇や空き空間を生かした植物栽培の基礎知識やノウハウの伝授、さらにはコンサルティングまで、現場教員の皆さんの広い要望に対応しています。
問い合わせ先 附属農場 TEL0285-84-2424 FAX0285-84-2425
E-mail fuzunoujy@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
「森のがっこう」（小学生）
夏休みに1泊2日で開催しており、森林（里山）における動物観察、林業体験をととして自然との触れ合い体験ができます。
問い合わせ先 附属演習林 TEL0287-47-0158 FAX0287-47-0366
E-mail fuzensyu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



図書館アトリウム



グリーンパーク



【雑草科学研究センター】
公開セミナー（学生・一般市民）
センター教員、客員教授や国内外の著名な研究者を講師として、雑草科学や都市緑化、生活環境の修復・保全に関連した内容で年に10回程度開催しています。
シンポジウム（企業人・一般市民）
国内外の著名な研究者を招へいし、植生マネジメントに関するシンポジウムを開催しています。
センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）
大学のオープンキャンパス時にセンター研究棟、温室等の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。同時に一般市民の方も対象にしています。強毒雑草や寄生雑草、住居環境の緑化に役立つ植物の展示を行い、雑草が私たちの生活にどのような影響を与えているのかがやすく説明します。当日は「雑草何でも相談室」を設けて雑草に関する相談に応じています。
問い合わせ先 TEL028-649-5148 FAX028-649-5155
E-mail zasso@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

【バイオサイエンス教育研究センター】
バイオサイエンスセミナー（学生・教職員・一般市民）
本センターの各研究領域と関係の深い国内外の研究者が講演します。
シンポジウム『バイオクラスターの形成と技術開発』（学生・教職員・一般市民）
地元企業の研究者と本センターの各研究領域で連携している研究について講演します。
センターの一般公開
建物の一部を一般公開しています。施設見学を希望する方は事前に申し込んでください。
バイオテクノロジー体験講座（高校生）
夏休みに、DNAに関する講義と実験を行います。
放射線障害防止のための教育訓練（放射線を取り扱う予定のある学生・教職員）
センター内にある放射性同位元素実験室ではR1実験を行うことができます。
法令等に定める放射線障害防止のための教育・訓練を毎年4月に行っています。
問い合わせ先 TEL028-649-5527 FAX028-649-8651
E-mail: c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp

【附属図書館】
附属図書館では、地域に開かれた知の拠点として、当館が所蔵する教育研究のために収集した貴重な学術情報資源を、地域の皆様の生涯学習を支援するために広く開放しています。
問い合わせ先 学術研究部学術情報課 TEL028-649-5130 FAX028-649-5138
E-mail tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



SLOWFOOD

鹿沼こんにやく 独特の歯ごたえと風味

こんにやくは、おでんや豚汁に欠かせない食材です。酢味噌などをつけて食べる刺身こんにやくは、一年中楽しむことができます。国産のこんにやくといえば、群馬県の下仁田こんにやくが有名ですが、栃木県の鹿沼や栗野でも、昔ながらの製法を受け継ぎながら、地元こんにやく芋を使って、質が高く美味しい「鹿沼こんにやく」が作られています。

食通であり、古文書による懐石料理の再現に興味を持っていた鹿沼の画家、故石塚青我氏によると、板荷村の二兵衛という人物が1738年（元文3年）10月28日と11月10日の二度にわたり鹿沼こんにやくを日光東照宮に奉納した、という記録が古文書に残されているそうです。このように鹿沼や栗野では、300年近くも前から、砂利の混じった水はけの良い土、日光が遮られ日照時間が短い山間部といった、こんにやく芋の栽培に適している畑で、在来種のこんにやく芋が生産されています。



こんにやく芋の畑。畑の中にもぐると木が並んで植えられているようにも見える



収穫されたこんにやく芋

こんにやく芋は、こんにやくの原料として収穫するまでに、3年の月日が必要となります。こんにやく芋の栽培では、はじめは十分に成長したこんにやく芋の親玉から、生子（きご）と呼ばれる部分を取り分け、取り分けられた生子を5月頃に植えます。そして11月頃に成長したこんにやく芋を全て収穫し、一冬を倉庫で保管した後、翌年の5月頃に再び植えます。栽培を始めて3年目の11月頃に、十分に大きくなったこんにやく芋を、こんにやくの原料として収穫します。このように、こんにやく芋の栽培には長い月日が必要となります。最近では、2年で収穫可能な品種の改良が行われ、栽培されているところがあるそうです。

我々がよく目にするこんにやくは、こんにやく粉から作られます。こんにやく粉は、収穫後のこんにやく芋を、チップ状にして乾燥させ、粉末状にしたものです。昔は、天日で乾燥させ、水車の力を利用して粉にしていました。生のこんにやく芋7俵（1俵は約30kg）から約20kgのこんにやく粉ができます。このように、こんにやく粉はこんにやくの成分が濃縮されたものです。製造の段階では、こんにやく粉に何十倍もの水を加え、適量のアルカリ水を混ぜて固め、茹で上げて、こんにやくを作ります。

昔は、囲炉裏の灰を水に混ぜてできた上澄み液を、アルカリ水として利用していた時代もありましたが、今では、貝殻焼成カルシウム（シェルライム）を利用したアルカリ水を、こんにやくの凝固剤として使用しています。普段我々がイメージする灰色や黒っぽいイメージのこんにやくは、こんにやく芋の皮がこんにやく粉に含まれていた時の名残です。今では、こんにやく芋の皮を剥いてから、こんにやく粉が作られるので、こんにやく粉は白っぽい色をしています。そこで、わざわざ海草粉を使って、黒っぽい色を出し、我々がイメージするこんにやくを作っているそうです。

こんにやく芋を乾燥させ、粉碎させて作られるこんにやく粉。こんにやく粉は、主にグルコマンナンと呼ばれる多糖成分が含まれ、他にはでんぷんが含まれているだけなので、無味無臭に近い



茹で上がった、海草粉入りのこんにやく

私は、本当に美味しいこんにやくは、「生ずりこんにやく」だと思います。生ずりこんにやくは、こんにやく粉を使った通常のこんにやくとは異なり、期間限定（11月頃から翌年3月頃まで）の食材です。生ずりこんにやくは、11月頃に収穫したこんにやく芋の皮を剥いてすりおろし、アルカリ水と混ぜて攪拌し、一晩寝かせ、次の日にこんにやくの形に成型し茹で上げて作られます。ほとんどが手作業で作られる生ずりこんにやくは、新鮮なこんにやく芋をすりおろすことによって、こんにやく芋の繊維質が破壊されずに残ります。そのため、できあがった生ずりこんにやくを食べると、こんにやく粉から作られる中身が密で均一なこんにやくとは違って、独特の歯ごたえを持つ食感を楽しむことができます。また、生ずりこんにやくは、こんにやく芋ならではのうまみ成分を持つため、刺身こんにやく以上に、味と香りを堪能できます。



こんにやく芋をすりおろして、アルカリ水を加え、一晩寝かした「鹿沼生ずりこんにやく」の生地



一つ一つ手でちぎって、型（写真手前の木枠）に押し込んで成型し、釜に入れて茹で上げる。こんにやく芋ならではのうまみ成分によって、こんにやくを茹で上げる工場内には、魚の臭気のような独特の香りが充満している



茹で上がったばかりの生ずりこんにやくを醤油につけ、ショウガをあえたもの。できたての生ずりこんにやくは、さらに美味しい。生ずりこんにやくの歯ごたえは、プニョプニョ、シャクシャクといった、なんとも気持ちの良いもの

こんにやくは、我々の食生活のなかで、昔から我々の健康を守ってくれる重要な食材です。こんにやくは、食物繊維が多く含まれるため、成人病や文明病と呼ばれる肥満、便秘、動脈硬化や心臓病、糖尿病、ガン、胆石、痔などに効果があるだけでなく、その低カロリーからダイエットにも効果があります。昔は、こんにやくを、胃のほうきや、腸の砂下ろしと呼び、大掃除の後には必ずこんにやくを体内の毒さらいとして食べる習慣があったそうです。しかし今では、あるデータによると、1人あたりの年間消費量は約2200g、1日換算にすると約6gということですので、食べているように実はあまり食べていないのが、こんにやくなのです。

日本各地の伝統食材の生産量が少しずつ減少していく中で、国産のこんにやく芋の生産量もまた減少しています。平成16年度のデータでは、群馬県でのこんにやく芋の生産量は63,600t（89.6%）、栃木県での生産量は3,700t（5.2%）です。一方で、鹿沼・栗野でのこんにやく生産に関わっている農家の数は100軒ほどまで減少し、しかも高齢化が進み、60歳以上の生産者が大半を占めています。さらに今では、中国などの海外から、自由化されたこんにやく製品が輸入されています。そのため、価格や生産コストの面でも、地元のこんにやく芋の栽培を続け、製品化していくには、厳しい状況が続いています。

代々鹿沼こんにやくの製造生産を続けられていらっしゃる中條堅二さんによると、鹿沼の美味しい水が、鹿沼こんにやくの品質をさらに高め、国内最高品質のこんにやくに仕上がっているとおっしゃっていました。みなさんの住んでいる近くに、昔からある、地元の人たちが守り続けている、身近な美味しいこんにやくを、是非一度食べられてみて、プニョプニョ、シャクシャクといった、独特の食感と風味を楽しまれてみてはいかがでしょうか？

（農学部 野口良造）

宇都宮といえば **ギョウザ!** やっぱり

あなたの好きなお店はどこですか？

1位	宇都宮みんな	67票	→ 野菜の量が多い
2位	正嗣	50票	
3位	中華トントン	14票	→ とにかくジャンボ!
4位	宇都宮餃子館	8票	→ 種類が豊富!
5位	めんめん	7票	
6位	青源	5票	
7位	家で作る・母親の	4票	
8位	イキイキギョーザ	3票	
8位	餃天堂	3票	
8位	風神社中	3票	

「宇都宮みんな」と「正嗣」が人気でした。
お気に入りの理由はみんなそれぞれ違うけど、「普通だから好き!」という方もいれば、「大きいから!」など特徴のある餃子も人気のひとつでした。「家庭の餃子が一番!」という方もいました。

学生アンケート

宇大生は **今!**



栃木のちょっと **おみやげ** はなんですか? 自慢できる

1位	ギョーザ	48票
2位	イチゴ	36票
3位	ギョーザのお菓子 (餃子パイ、餃子せんべいなど)	14票
4位	イチゴのお菓子	7票
5位	たまり漬け	6票
6位	日本酒 (四季桜、澤姫、惣誉など)	5票
7位	那須の月	4票
7位	かんぴょう	4票
9位	レモン牛乳	3票
9位	気持ち	3票

やっぱり『餃子の街』宇都宮! おみやげにもギョウザやギョウザのお菓子がランクイン!
それにイチゴとイチゴのお菓子が続きました。「気持ち」というおみやげもありました。



先輩から新入生に **コト** オススメする

丈夫な自転車があると便利! できれば車も.....。
アルバイトをして社会体験・経験を身に付けて!
自己管理をしっかりと。
勉強。一生懸命頑張れば自分の宝になるよ。
旅行
サークルに入ろう!
ラーメン巡りもおもしろいよ。

栃木県内でよく行くまたは一度は行ってみたい **観光スポット** はどこですか?

1位	日光	96票	→ 日光東照宮、いろは坂、竜頭の滝など
2位	那須	37票	→ 那須ハイランドパーク、千本松牧場など
3位	宇都宮	36票	→ FKD宇都宮インターパーク、ベルモールなど
4位	佐野	22票	→ 佐野プレミアム・アウトレットなど
5位	茂木	10票	→ ツインリンクもてぎなど

さすがに世界遺産! 日光東照宮は一度は訪れてみたいですね。県内には北から南まで広く観光スポットがあります。

Circle pin-up

サークル紹介 宇都宮大学管弦楽団

私たち宇都宮大学管弦楽団は、夏と冬、年2回の定期演奏会を中心に、地域の小学校や老人ホームなどへの訪問演奏、大学の入学式や卒業式における演奏、年3回の合宿などの活動を行っています。管弦楽とはオーケストラのことで、弦楽器や管楽器、打楽器で構成されています。主にクラシックを演奏しますが、合宿のアンサンブルなどでポップスを弾くこともあります。現在、管弦楽団は大学一の大きなサ

ークルであり、2年生から大学院生まで80名を超える団員が日々練習に励んでいます。基本的に、毎週火・金曜日の18:00~20:00と土曜日は、部室で分奏(セクションごとの練習)や全奏(全体での練習)が行われます。団員の中には楽器経験者もいますが、大学から楽器を始めた人も多数いるので、初心者の方でも大歓迎です。新入生で少しでも興味を持った方は一度、新歓演奏会を聴きにきて下さい。また、いつでも見学に部室へ足を運んで下さいね



練習風景



第64回定期演奏会

新歓演奏会

4月11日 16:30
4月18日 16:30

場所: 部室

曲目: パイレーツ・オブ・カリビアン
花のワルツ、ラデツキー行進曲
トリッチトラッチポルカ
シンコペイテッド・クロック

宇都宮大学管弦楽団 第65回定期演奏会

日時: 7月5日(土) 開場17:30 開演18:00

会場: 宇都宮市文化会館 大ホール

曲目: ベートーベン/エグモント序曲

チャイコフスキー/ロメオとジュリエット

シベリウス/交響曲第2番

指揮: 井崎 正浩

TEL: 080-5047-5187(佐藤)

オープンキャンパス

大学ってどんなところ？

オープンキャンパスで「知りたかったこと」が分かる！

入場無料



日時：8月3日(日)9:30～
 場所：峰キャンパス(国際学部・教育学部・農学部)
 陽東キャンパス(工学部)
 内容：模擬授業、実験体験、研究室・施設公開、個別入
 試相談、サークルデモンストレーションなど

宇大にはどんな授業があるのかな？

学部ごとにたくさんの模擬授業を用意しています。
 わくわくするような授業を発見！

事前の申込みは必要ありません。

学生スタッフがサポートします。

大学の構内は広い！
 「教室の場所が分からない！」
 「どこから見たらいいのかわからない！」
 そんなときは、学生スタッフに気軽に声をかけて
 ください。

宇大生のキャンパスライフは？

サークル活動をデモンストレーションでチェック！
 こだわりのメニューを学生食堂でチェック！
 学生スタッフにキャンパスライフについて聞いてみよう！

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学企画広報室 TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

附属学校園公開研究発表会

【附属小学校】研究主題「次代を担う子供たちへ」
 ～学びの価値に気づき、自己を拓く～

6月10日(火)
 生活科・道徳・特別活動・総合の時間の研究授業、各分会、全体会
 講演会 渡邊寛治先生(文政学院大学外国語学部教授)

6月12日(木)
 算数・理科・音楽・家庭の研究授業、各分会、全体会
 講演会 梶田一先生(兵庫教育大学学長)

6月13日(金)
 国語・社会・図工・体育の研究授業、各分会、全体会
 講演会 工藤文三先生(国立教育政策研究所初等中等教育研究部長)

【附属幼稚園】研究主題「気になる子と保育」
 ～多様性に応じる教育のあり方～

6月20日(金)
 公開保育及び保育研究、分科会
 講演会 小田 豊先生(独立行政法人 国立特殊教育総合研究所)

【附属中学校】研究主題「新しい時代の対応した授業の在り方を
 考える」～「活用」型学習活動の実践を通して～

6月26日(木)公開授業、分科会、全体会
 講演会 松下佳代先生(京都大学高等教育開発推進センター教授)

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学教育学部附属小学校 TEL028-622-2291
 宇都宮大学教育学部附属幼稚園 TEL028-622-9051
 宇都宮大学教育学部附属中学校 TEL028-621-2555

保育を語る会(全5回)

第1回 5月17日(土)9:00～ 分科会
 テーマ:「気になる子と保育」

～今、あなたが困っていることは?～

第2回 9月6日(土)9:00～ パネルディスカッション
 テーマ:「気になる子と保育」

～今、小学校の先生が困っていることは?～

*第3回～5回は次号にて案内します。

参加費:200円(資料代)

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学教育学部附属幼稚園 TEL 028-622-9051

2008年度新規開設講座

ポルトガル語

国際学部同窓会の支援を受けて、県内大学で初めての
 のポルトガル語を開講します！

科目名:外国語特別講義(ポルトガル語)
 対象学年:2年
 内容:文法の基本を習得し、辞書を用いて簡単な文
 章の読み書きを学ぶ。

科目名:外国語特別演習(ポルトガル語)
 対象学年:2年
 内容:基礎実用会話を実践

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学学務部学修支援課
 TEL028-649-5084 FAX028-649-5095

光科学

科目名:光科学入門
 対象学年:2年
 内容:光学への導入科目。どのような分野で、どの
 ように光学が活用され役立っているかを、必
 要に応じて専門的知識を織り交ぜて紹介する。

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学工学部学生係
 TEL028-689-6013 FAX028-689-6019

2008「ITと社会」発表コンクール

高校生によるIT社会への提言 発表募集!

応募期間:5月1日(木)～6月6日(金) 日常生活での体験に基づいた情報技術、情報技術と
 応募資格:高校2、3年生 個人、社会との関わりなどについての主張を、これか
 らの社会を担う高校生の皆さんから広く募集します。

入場無料

発表コンクール
 日時:8月7日(木) コンクールで高い評価を受けた発表者は、宇都宮大学工学部情
 報工学科のAO入試への出願要件の1つとして利用できます。
 場所:宇都宮大学工学部 AO入試については、6月末ごろ発表予定の「宇都宮大学AO入
 アカデミア・ホール 試学生募集要項」をご覧ください。

お問い合わせはこちらまで 事前の申込みは必要ありません。
 宇都宮大学工学部情報工学科「ITと社会」発表コンクール実行委員会
 TEL/FAX 028-689-6265 E-mail itcon2008@is.utsunomiya-u.ac.jp

作業製品販売

高等部生徒が心を込めて作製した
 製品を販売しております。

場所:ラパーク長崎屋宇都宮店4階
 フリーマーケットボックス
 宇都宮市馬場通り2-3-12

作品:陶芸品、織物・縫製品、木工製品

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校高等部
 宇都宮市宝木町1-2592
 TEL 028-621-3871

運動会

ダンス、4色対抗リレー、応援合戦!

日時:6月7日(土)9:20～14:20
 場所:宇都宮大学教育学部附属特別支援学校
 (旧附属養護学校)校庭。(雨天順延)
 内容:小学部児童、中学部・高等部生徒の演技
 受付でプログラムをお受け取りください。

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校
 宇都宮市宝木町1-2592
 TEL 028-621-3871

オープンキャンパスのお知らせ

宇都宮大学教育学部附属特別支援学校

本校では、教育内容や施設設備について
 広く御理解をいただくために、オープン
 キャンパスを実施しております。当日は、
 学校参観や入学相談等がありますので、
 ふるって御参加ください。

日時 第1回 7月 7日(月)10:00～12:00
 第2回 9月10日(水)10:00～12:00
 内容 ・小学部、中学部、高等部の授業参観
 ・入学相談(個別)
 ・校舎内外施設設備の参観
 日程 受付 9:40～
 日程説明 10:00～
 自由参観・入学相談 10:15～
 その他 ・駐車場が満杯になった場合は、本校玄関
 前ロータリーにも停められます。
 ・お子様もおいでいただけます。

お問い合わせはこちらまで
 TEL 028-643-1481(教育相談用:職員室直通)/TEL 028-621-3871
 E-mail kifyg@cc.utsunomiya-u.ac.jp

工学部 インターンシップ

工学部では今年の8、9月にインターンシ
 ップを計画しています。

説明会は5月以降、3回程度を予定してい
 ますので、参加したい工学部の学生は「も
 のづくり創成工学センター」の掲示に注意
 してください。

社会を見る目が養われますから、就職活
 動前の3年生や大学院博士前期課程1年生は
 是非インターンシップに参加することを勧
 めます。

お問い合わせはこちらまで
 工学部附属ものづくり創成工学センター
 TEL/FAX 028-689-7070
 E-mail icree@cc.utsunomiya-u.ac.jp

バイオサイエンス 教育研究センター

Center for Bioscience Research & Education
 (略称 C-Bio)

バイオサイエンス教育研究のレベルアップを図り地
 域に貢献するための体制を整えるために、遺伝子実験
 施設、RI実験室、動物実験室および環境調節実験棟と
 いった本学におけるバイオ系研究施設および従事する
 教職員をはじめとする人的・物的資源を集約し、高度
 にバイオサイエンスの教育・研究を推進する「バイオ
 サイエンス教育研究センター」へと発展的に統合し、
 平成20年3月25日発足しました。

お問い合わせはこちらまで
 バイオサイエンス教育研究センター
 TEL028-649-5527 FAX028-649-8651
 http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/

研究 Keyword

未開拓の光を創り、 極限技術を実現する

大学院工学研究科

東口 武史



PROFILE

宮崎県出身。2001年、宇都宮大学大学院工学研究科修了。2001-2006年、宮崎大学勤務。2006年から宇都宮大学勤務 / 博士(工学) / 専門分野：レーザー応用工学、短波長光源の開発

宇都宮大学大学院工学研究科助教 東口 武史



超短パルス高強度レーザーにより極限状態を創り、新たな光を創る



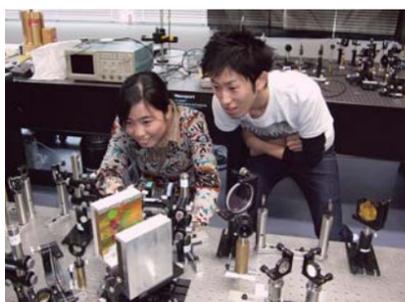
学生との超短パルス診断技術の開発

枕草子の第一段は「春はあけぼの……」です。国語の古典の第一段には清少納言のそれぞれについて書かれています。この段だけでも光や色に關係する言葉がいくつも出てきます。これは、昔から光を身近な存在として感じて生活してきたことに他なりません。宇都宮の夏の風物詩「雷」や通り雨の後の「虹」など、身の回りに光があふれ、今も光と関わりを持った生活をしています。このような光は自然の光とも言えるでしょう。

人工の光もあります。代表的には蛍光灯やレーザーなどでしょう。いずれも身の回りになくてはならないものです。蛍光灯は日々の生活での灯りですし、レーザーは音楽のCDや映画のDVDのプレイヤーに使われています。レーザー光は身の回りにはあふれていると言いつつも、レーザー光は「強い光」ですから、普通の生活で直接目に触れることは稀です。レーザーポインタはともかく、むしろレーザー光は生活の中の見えないところで活躍しています。CDやDVD、パソコンの中に入っているレーザーは箱の中(これを「ブラックボックス」と呼ぶこともあります)に入っており、レーザーの存在には気がつきにくいものです。

いつも身につけていて、電話・メール・写真撮影ができて、今や電子マネーとしても使われている携帯電話は、高度な技術をぎゅっと詰め込んだ電子機器です。同時にその中身を見ることができないブラックボックスでもあります。携帯電話は発展し続けており、今もなお機能を増やしています。なぜこのようなことが可能なのでしょう。それはこの中に半導体と呼ばれる材料の性質を巧みに利用した電子回路の高密度化が貢献しているからです。電話やメールを制御しているのは、まさに電子回路そのものです。手のひらに収まる携帯電話を多機能にする一つの解決法は、手のひらなどの限られた空間内に多くの電子回路を組み込む方法です。そのために、電子回路が描かれた回

路図をウィルスや原子程度の大きさ、つまりナノメートルの大きさに縮小コピーすることが必要なのです。この技術をリソグラフィと呼びます。リソグラフィ技術でどこまで縮小コピーできるかは、この技術に使う光の波長に關係しています。光は波としての性質を持ちます。波長は波の大きさを表す一つの指標です。前出の光はそのほとんどがヒトの色を区別できる可視光と呼ばれる光です。リソグラフィ技術では可視光よりも波長の短い光を使います。紫外光からエックス線の間にある極端紫外光(EUV光)と呼ばれる光で、波長は13・5ナノメートルです。可視光である緑の光の波長の約50分の1の長さです。世界的に有名な日本の企業と大学が手を組み、EUV光を使ったリソグラフィシステムを日夜開発しています。アメリカやヨーロッパとの間で激しい開発競争が行われています。

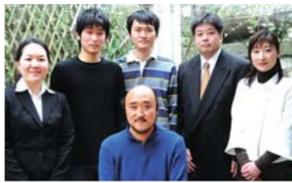


光学システム構築の教育

EUV光を使ったリソグラフィ技術を実現するためには、EUV光を創ることが必要です。そのために、レーザーを用いてプラズマ(固体・液体・気体の三つの状態の次の状態を表わす言葉で、第四の状態とも呼ばれます)を創り、EUV光を効率的かつ高出力で発生させるための条件や物理的な振る舞いを観測し、制御法を明らかにするための研究を行っています。リソグラフィ技術が目指しているのは、電子回路をどこまで小さくすることができるとかという極限技術であり、未開拓の光だからこそ創るうとして光です。一方、可視光の赤い光

の波長よりも1000倍も長い領域にも未開拓の新しい光があります。これをテラヘルツ光と呼んでいます。この光を使うとエックス線では区別できない物質を判別できます。主に有機物を中心とした分子を判別でき、体の中のガンと明確に区別できるので、医学・バイオ分野での応用が待たれています。そのような応用研究を進展させるために、強力なテラヘルツ光を発生できるコンパクトな光源を開発しています。これまでの方法とは異なり、新しいアイデアに満ちたテラヘルツ光源の研究にもチャレンジしています。

新入生の皆さんへ入学おめでとうございます。UU Now第13号をお届けします。フロントページでは、工学部を卒業された写真家として活躍されている高砂淳氏を特集しました。氏は「なるべく頭を固めないように、柔らかく発想をいろいろ試す」とをもちろむる発想を大事にしたい」と語り、学生たちに「あまり凝り固まった学生生活を送らないでほしい。可能性が広がっている」とエールを送っています。氏は現在、自費保護活動にも取り組んでいます。氏が海洋写真家になられた原点でもある、エマルドグリーンに輝くグレートバリアリーフの美しさがいままで多くの人々に感動を与えられよう、私たち一人ひとりが地球のことをもつと真剣に考えなければならぬと、改めて考えさせられました。



編集長 水本 忠武

広報室では、皆様の声をお待ちしております。ご意見・ご要望などをお寄せください。
【宛先】
宇都宮大学 企画広報室
〒321-8505 宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



宇都宮大学 携帯サイトへGO!

- 企画・編集 宇都宮大学広報室 UU Now第13号編集委員
- 編集長 水本 忠武 理事 企画戦略担当
- 編集委員 吉澤 良幸 農学部4年
- マリー ケオマノータム 国際学部教員
- 川原 誠司 教育学部教員
- 佐々木英和 生涯学習教育研究センター教員
- 湯山 一郎 工学部教員
- 野口 良造 農学部教員
- 金子 豊 総務課職員
- 小島 啓重 国際学部職員
- 谷中 由枝 企画広報室職員
- 高野 浩一 農学部職員
- 鈴木貞一郎 学生支援課職員
- 茂木 博 学術情報課職員
- 編集協力 ヒオス編集室

編集後記

2008 Spring

公開講座

5月8日(木)
10:00から
受付開始!

最新の話題に関する講座から、語学、実技まで豊富な内容で開講いたします。どなたでも受講できます。

講座の内容など、詳しくはHPをご覧ください。

http://www.utsunomiya-u.ac.jp/syougai/senterhp/index.htm

パンフレット請求・お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学生涯学習教育研究センター
TEL 028-649-5144 FAX 028-649-5145
(10:00~16:00 土日祝日除く)

平成20年度(2008年度)
宇都宮大学
公開講座開催案内

後援
栃木県教育委員会
宇都宮市教育委員会
(財)とらぎ生涯学習文化財団